

相続士資公式問題集 2025年▶2026年 正誤表

No	頁	箇所	誤	正
1	100	問32	次に示す宅地の評価を土地及び土地の上に存する権利の評価 証明書 に記入するにあたって①から④に入る数値の組み合わせで正しいものを選び。	次に示す宅地の評価を土地及び土地の上に存する権利の評価 明細書 に記入するにあたって①から④に入る数値の組み合わせで正しいものを選び。
2	209	問30	正解：A	正解：B
3	221	問41	○ ①小規模宅地等についての相続税の課税価格の計算の特例は、宅地等に関する規定であり建物に関する規定ではない。 × ②小規模宅地等についての相続税の課税価格の計算の特例は、相続又は遺贈により宅地等を取得した親族に限られ。 × ③この規定の適用を受ける場合、その結果相続税額が0になったとしても相続申請書の提出は必要である。	× ①小規模宅地等についての相続税の課税価格の計算の特例は、宅地等に関する規定であり建物に関する規定ではない。 ○ ②小規模宅地等についての相続税の課税価格の計算の特例は、相続又は遺贈により宅地等を取得した親族に限られる。 × ③この規定の適用を受ける場合、その結果相続税額が0になったとしても相続申請書の提出は必要である。